

かすがい市女性問題啓発紙

はるか

VOL.6

2001.2

特集 ▶ ジェンダー・フリーな社会をめざして

ひとり、ひとりの

個性がもっと輝いたら

きっと楽しい

明日になるんじゃないかな



ジェンダー・フリーな社会をめざして!!

必要以上に区別していませんか、女と男。

「あなたは女の子だからピンク」「重いものを持つのは男の子」などと言われたり、言ったりした経験はだれもが持っているのではないのでしょうか。

生物学的な性差ではなく、このように社会や文化がつくりあげた「女らしさ」「男らしさ」をジェンダーと言います。ジェンダーにとらわれて、男女が固定的な役割分担をしたり、不利な扱いを受けたりして持っている力を発揮できないのでは、平等な社会とは言えません。

これからは、女だから、男だからときめつけないで、一人ひとりが個人として尊重され多様な個性を発揮できる、ジェンダーに縛られない、ジェンダー・フリーな社会を目指していくことが重要です。

そのためには、家庭や職場、地域での毎日の生活や人間関係の中になにげなく組み込まれているジェンダーに、私たちがそれぞれの立場から敏感に気づき、見直していくことが大切です。



こんななかにもジェンダーが...

■絵本のなかで

絵本の中には、王子様がお姫様を助けるとか、男の子が悪者を退治するという話があり、幼いころから男の子は強く、女の子は男の子に守られているというイメージが植え付けられています。

世の中には強い男性ばかりでなく、強い女性だっています。しかし、「すべての女は男より弱いもの」というイメージが無意識のうちに刷り込まれているのではないのでしょうか。



■表現のなかで

最近女性の活躍が目覚ましいですが、その表現として、女社長、女性評論家、女流作家とわざわざ女性を頭に付けて女であることを強調しています。社長、評論家、作家と言ったら男性のことを指すのでしょうか。そこで「女」と「男」を入れ替えてみると、男社長、男性評論家、男流作家となり、何か変です。

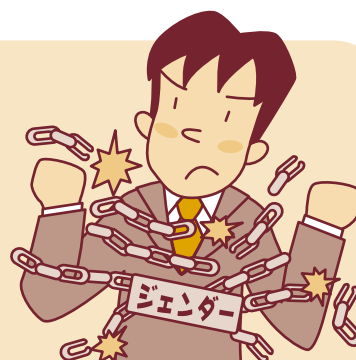
「女性」を頭に付けるというのは、男性の世界に踏み込んだ女性を特別視したり、女性であることを強調したりする役割を果たしています。職業は本来性別に関係ないのではないのでしょうか。

それぞれのジェンダー、気づかずにいることはありませんか。まだまだいろんなところにジェンダーは潜んでいます。性別で役割をきめつけることにより、無意識のうちに男女に不平等をもたらしたり、上下関係や優劣を付けたりしていませんか。

日ごろから気づかずにいるジェンダーを発見し、これを解消していくことが重要です。

ひとこと

男性も子どものころから「男は泣かない、弱音をはかない」と言われ続け強くあること、また働き手として競争に勝ち抜くことを常に求められているなかで、差別から自由であるとは言えません。いつも強くなければと^{よろい}鎧を付けているのでは疲れます。自分らしく生きられるジェンダー・フリーの社会はそんな男性にも住みやすい社会です。





INFORMATION

かすがい男女共同参画プラン(仮称)に対する 意見募集の結果をお知らせします

男女共同参画のあり方を検討している「春日井市男女共同参画懇話会」が「かすがい男女共同参画プラン(仮称)」の中間報告を取りまとめ、昨年の12月1日号広報やホームページなどで周知するとともに、郵便・ファックス・Eメールなどで意見の募集をしました。また、12月12日には、レディヤンかすがいで懇話会委員と市民の皆さんとの意見交換会を開催し、約60人の参加がありました。委員からの概要説明後、参加者から活発な意見が出されました。

意見募集・意見交換会を通して寄せられた意見は総数で75件(女性60件、男性15件)あり、懇話会では現在こうした意見なども参考に3月の提言に向けて審議を重ねています。

意見の概要は次のとおりです。

■ 計画の基本的な考え方

基本理念の責任についての表現を、自分に責任を持つことや、基本的視点のエンパワーメントの女性の力についての解釈を、女性が力をつけるということにするなどの意見がありました。

■ 目標Ⅰ 男女共同参画社会に向けての意識改革

家庭・幼児・学校教育などでの男女平等、ジェンダー教育及び男女共同参画の推進、意識改革の必要性への意見が多数あり、また、完全な男女平等は無理である、女性だけでなく男性にも差別があるという意見や、メディアリテラシー教育、クィーン春日井の見直し、ジェンダー教育のハンドブック作成を求めるなどの意見がありました。

■ 目標Ⅱ 意思決定過程への女性の参画

審議会等への充て職をなくし女性登用の推進、女性リーダー育成研修、カウンセリングのできる相談窓口、託児付き講座の拡充を求める意見や、レディヤンかすがいが啓蒙・情報発信の場であるという表現にするなどの意見がありました。

■ 目標Ⅲ 家庭生活における男女共同参画の促進

安心して子どもを産み育てるための乳幼児・障害児保育施設の充実、託児ネットワーク作り、男女が共同で子育てにあたるよう長時間労働の是正を求める意見や子育て・介護は社会全体の問題であるなどの意見がありました。

■ 目標Ⅳ 地域における男女共同参画の促進

子どものために地域のふれあいの大切さ、地域や家庭などが共にかかわり子育てをしていく重要性の意見や、インターネットを利用した地域情報の発信やネットワーク化、男性のボランティアへの参加を求めるなどの意見がありました。

■ 目標Ⅴ 就業における男女共同参画の推進

労働条件の平等、労働環境の整備、育児・介護休業の利用推進を求める意見が多数あり、また、女性の再雇用制度の確立、働く女性の実態調査や相談窓口の充実を求めるなどの意見がありました。

■ 目標Ⅵ 人権が尊重される社会の実現

ドメスティック・バイオレンス(DV:夫や恋人からの暴力)の相談窓口の設置、窓口での二重被害を防止するための相談員の教育を求めるなどの意見がありました。

■ 計画の推進

計画を推進するため企画部門への担当部局の移管、進行状況を外部からチェック・評価する制度の導入、条例の制定を求める意見や、行政の関係部局の連携のあり方、プラン策定後の市民参加の重要性などの意見がありました。

■ その他

市民意見の内容等の公表、実現可能な具体的施策の検討、身近な施策からの実行を求めるなどの意見がありました。



レディヤンかすがいで行われた意見交換会

第18回 かすがい女性のつどい

■とき 2月25日(日) 午前10時～午後3時

■ところ レディヤンかすがい

午前10時から正午
講演 多目的ホール

テーマ「女と男のもつと良い関係」

講師/辛淑玉(しんすく)さん
人材育成技術研究所長



午後1時から
パネルディスカッション 2階講習室
テーマ「わたしの権利・あなたの権利」
パネラー

- 石田好江さん 春日井市男女共同参画懇話会座長・愛知淑徳大学教授
- 辻本忍さん 名古屋市女性会館情報担当・かすがい女性連盟会員
- バーバラ・キャスターラインさん 英語講師
- 岡崎勝さん 日本女性会議2000津コメンテーター・小学校教員

午後1時から
リレートーク 3階視聴覚・音楽室
テーマ「女と男のもつと良い関係」

テーマに沿って自由に話すコーナー

託児/要予約
手話通訳有り

主催/春日井市・かすがい女性連盟
問い合わせ・託児の申し込み
青少年女性課 ☎(85) 6152



ISO14001認証取得
「環境にやさしい自治体 春日井市」